

P2-3 令和4年度決算報告

P4 特定健診 健康診断が体の変化をいち早くお知らせ

P5 特定保健指導 1人よりもモチベーションを維持しやすい

P6 けんぽウォーキング大会「歩Fes.2023秋」開催!

MY HEALTH WEB (MHW) をダウンロードしよう!

MY HEALTH WEB (MHW) から医療費明細がダウンロード、印刷できます!

P7 BIWA-TEKU参加奨励!

ウォーキング大会参加奨励!

P8 歩きたくなる旅 高尾山

P10 健保組合からのお願い! マイナンバーカードを作って、保険証利用の申し込みをしてください!!

P11 インフルエンザ予防接種助成のご案内!

ジェネリック医薬品 どれくらい知ってる?

被扶養者のみなさまへ まだ間に合う特定健診

P12 血糖値を上げないレシピ

P14 がん検診を受診しましょう

献血にご協力ください

P15 第三者行為にあったとき

P16 ふくらはぎを鍛えて体力アップ



ご家庭へお持ち帰りになり ご家族ともどもご覧ください

滋賀県農協健康保険組合

令和4年度決算が令和5年7月5日開催の第142回組合会で承認されましたのでご報告します。

医療保険情勢

新型コロナウイルスによって社会・経済活動は大きな影響を受けましたが、令和5年5月に「5類感染症」に引き下げられ、コロナ禍前の社会活動に戻りつつあります。経済活動においても令和5年1～3月のGDPは2四半期連続のプラスとなり、6月にはバブル崩壊以降の株価が最高値となるなど、上昇傾向が予測されます。しかし、ロシアによるウクライナ侵攻は、今でも解決の糸口が見出せない状態が続いており、加えて円安の影響で資材や肥料、燃油等の価格は高水準となり、農家の経営を圧迫しています。

医療保険では、持続可能な社会保障制度の構築を目指し、先の通常国会で「全世代対応型社会保険法案」が可決されました。これにより、子ども・子育て支援の拡充、高齢者医療を全世代で公平に支えるための高齢者医療制度の見直し等が行われます。しかしながら、令和5年度の全国約1400の健保組合の予算編成状況では、経常収支において約8割の健保組合が赤字となり、厳しい財政状況が見込まれています。

当健保組合の状況

決算状況

当健保組合の令和4年度については、予算での経常収支を106百万円の赤字と見込んでいましたが、保険料収入の増加や、保険給付費・保健事業費等の減少で、決算での経常収支は23百万円の赤字まで圧縮することができました。

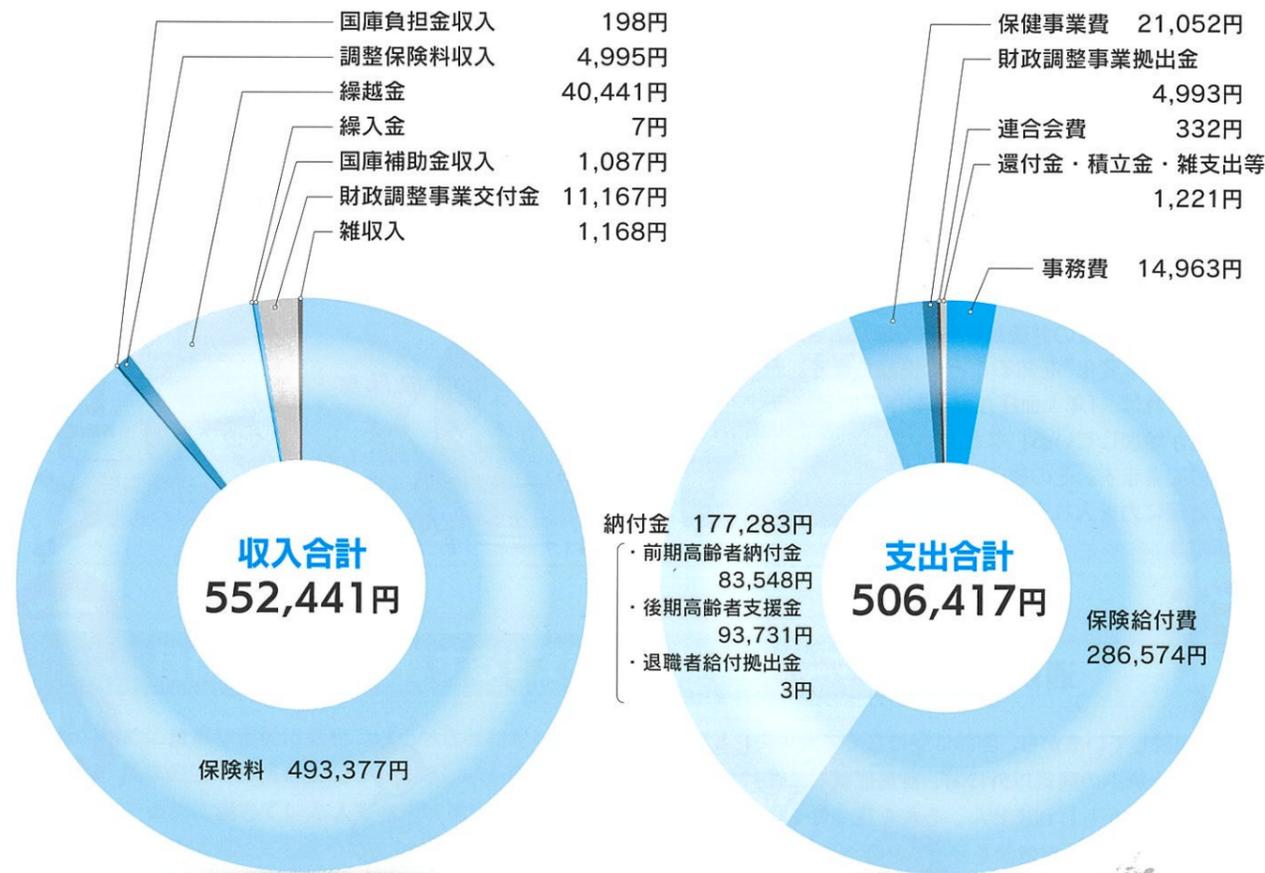
今後の見通し

今後は、被保険者の減少に伴う保険料収入の減少、医療の高度化による保険給付費の増加、高齢者医療に対する拠出金の増加等、厳しい財政状況が懸念されます。

また、事業者と連携した保健事業の強化や健康経営の推進等により被保険者・被扶養者の健康の維持・増進を図っていくことが重要と考えます。加えて、マイナンバーカードと健康保険証の一体化、第3期データヘルス計画の策定等への対応が迫られています。

今後とも、被保険者・被扶養者及び事業者のみなさまの協力のもと、適正で円滑な組合運営に取り組んでまいります。

被保険者1人当たりの決算（一般勘定）



※端数処理の関係で合計が合わない場合があります。

収入支出決算概要表

一般勘定

科目	令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額
収入				
保険料	1,740,217千円	1,716,458千円		
国庫負担金収入	706	689		
調整保険料収入	17,764	17,378		
繰越金	216,522	140,694		
繰入金	3,721	25		
国庫補助金収入	20,957	3,783		
財政調整事業交付金	54,031	38,850		
雑収入	1,421	4,065		
収入合計(A)	2,055,339千円	1,921,942千円		
経常収入合計(B)	1,745,815千円	1,721,161千円		
支出				
事務費	52,334千円	52,055千円		
保険給付費	941,906	996,991		
納付金	762,100	616,766		
前期高齢者納付金	419,126	290,664		
後期高齢者支援金	342,961	326,091		
病床転換支援金	1	1		
退職者給付拠出金	12	10		
保健事業費	72,922	73,239		
財政調整事業拠出金	17,723	17,372		
連合会費	1,146	1,155		
還付金・積立金・雑支出等	6,476	4,247		
支出合計(C)	1,854,607千円	1,761,825千円		
経常支出合計(D)	1,836,883千円	1,744,453千円		
差引残金				
令和3年度決算		令和4年度決算		
差引残金(A)-(C)	200,732千円	160,117千円		
経常収支差引残金(B)-(D)	△91,068千円	△23,292千円		

介護勘定

科目	令和4年度		科目	令和4年度	
	決算額	介護保険第2号被保険者たる被保険者等1人当たり額		決算額	介護保険第2号被保険者たる被保険者等1人当たり額
収入			支出		
介護保険収入	192,431千円	89,795円	介護納付金	177,874千円	83,002円
繰越金	33,534	15,648	支出合計(F)	177,874千円	83,002円
雑収入	4	2			
収入合計(E)	225,969千円	105,445円			
			差引残金(E)-(F)		48,095千円



どんな効果がある?
特定保健指導

生活習慣の改善は、1人でチャレンジするよりプロに頼りながら取り組むのがおすすめです。特定保健指導の案内が届いた方は参加し、プロと一緒に健康づくりをしましょう。

1人よりもモチベーションを維持しやすい

サポートがあるからラクに取り組める

特定保健指導の初回面談では、保健師や管理栄養士と相談しながら具体的な行動目標を決めます。1人でイチから考える必要はなく、健康や栄養のプロがあなたのライフスタイルをふまえたうえで、無理なくできることを提案します。激しい運動や厳しい食事制限を強いられることはありません。具体的な行動目標が決まったら、あとはできることから実行していただくだけでOKです。1人でチャレンジするよりもラクに生活改善に取り組めます。

● 行動目標の例 ●

- できるだけ階段を使う
- 食事は野菜から食べる
- 十分な睡眠時間を確保する

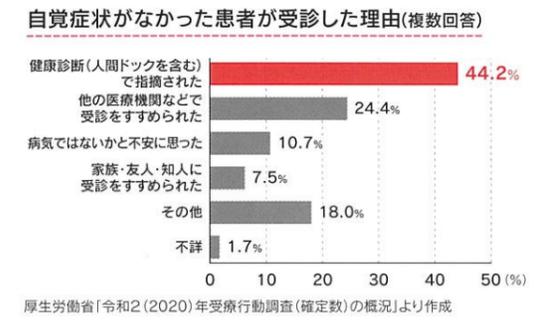
目標を誰かと共有すると実行が後押しされる

健康のために食事や運動に気をつけるべきとわかっていても、長年の生活習慣を変えるのは難しいものです。最初はやる気に満ちている人でも、次第に「今日はいいか」とやらなくなってしまうこともよくあります。ですが、保健師や管理栄養士など、誰かと目標を共有することで責任感ややる気生まれ、日々の生活で実行に移す後押しをしてくれます。また継続的に実行できれば、成果につながりやすくなります。



多くの人が健診をきっかけに医療機関を受診

医療機関の受診に関する調査において、自覚症状がない人の受診理由としてもっとも多いのは「健康診断(人間ドックを含む)で指摘された」(44.2%)でした。自覚症状のない多くの人は、健診や人間ドックをきっかけに医療機関を受診していました。日ごろ自分では気づかない健康状態の変化も、数値などで明確に知らせてくれるのが健診です。



毎年欠かさず受けることでさらに役に立つ

健診は、そのときの健康状態だけでなく、過去から現在までの「経年変化」を知ることによって役に立ちます。毎年欠かさず受ければ、「年々血圧が高くなっている」「数年前より体重が増加している」などといった数値の変化や傾向を把握できます。その後の生活でとくにリスクの高い病気の対策に力を入れるなど、より効率的な疾病予防ができます。



通院中の人でも特定健診を受けましょう!

「通院しているから、健診は受けなくて大丈夫」と思っていないですか?すでに治療中の病気以外にも、自覚症状なく進行している生活習慣病が隠れているかもしれません。それを見つけるには、国が定めた検査項目が含まれている特定健診を受ける必要があります。通院していても年に一度は必ず特定健診を受け、全身の健康状態をチェックしましょう。健診結果が届いたら、通院中の人は主治医に結果を見せるなどして今後の治療にお役立てください。



毎年受けていますか?
特定健診

健康状態が悪化したとき、必ずしも自覚症状があるとは限りません。自覚症状のない早期の段階で病気を見つけるには、健診が有効です。

健康診断が体の変化をいち早くお知らせ